



企業に求められる 人権意識とは？

企業の社会的責任・CSR

ユニバーサルデザインへの取り組み

採用選考の基本

障害者の社会参加

派遣社員って…

環境問題への取り組み

上映時間 24分 [C#2841]

ビデオ版 69,300円 (本体66,000円)

※字幕入り版あり [C#2842]



東映株式会社 教育映像部

〒104-8108 東京都中央区銀座3-2-17
<http://www.toei.co.jp/edu/>

企画意図

企業が社会の中で果たすべき責任はますます大きくなっています。企業には、単に利潤だけを追求するのではなく、より良い社会を築くために努力することが求められています。安全で安心な社会を作るためには、企業の社会的な取り組みは不可欠です。特に、優れた人権意識を持つことは企業が成長するためには必須の条件です。この作品は、企業に求められる人権意識のあり方を、若い社員の目を通してわかりやすく描き、問題提起するものです。

内容

会社案内の担当を任されたハート石鹸広報室の青木美鈴。ハート石鹸は新規に従業員を募集する予定であり、会社案内をウェブとパンフレットの両方で展開することになった。

『企業の社会的責任・CSR』

人事の責任者である泉田総務部長。泉田は人材採用にあたってはやる気と向上心、会社の製品に愛情を持ってくれる人をあげ、ハート石鹸は理念として、消費者の安全を守ることを目指してきたと美鈴に話す。それが企業としての社会的責任だと。

『採用選考の基本』

泉田は応募者の適性と能力のみを採用の基準とし、大学卒業者用はJIS規格の履歴書、高校卒業者には全国高等学校統一用紙を使用することを美鈴に伝える。親の職業や家庭環境、思想信条や宗教などで差別されないことが大切なのだ。しかし、取材の後、泉田は本音を語る。「ここだけの話、その人の生育環境や地縁、血縁は大事だと思う。企業防衛や利益を考えると、コネや身元調査も必要悪じゃないか」美鈴は強く反発する。

『環境問題への取り組み』

商品企画室の胡桃沢は、容器の「リユース」と「リサイクル」など、現在取り組んでいる環境問題への対応策を紹介する。ハート石鹸は人と環境に優しいモノづくりを売りにしているのに、容器には無頓着だったからだ。美鈴は感心する。

『ユニバーサルデザインへの取り組み』

胡桃沢は容器を工夫することで、ユニバーサルデザインの実現を模索している。しかし、上司の谷室長は採算面などを理由に胡桃沢の提案を拒絶する。美鈴は、ここでも割り切れないものを感じる。

『派遣社員って…』

派遣社員の千賀子はユニバーサルデザインにも詳

しく、胡桃沢は谷とのやり取りのなかで千賀子にも意見を求める。それに対して、谷は「君も派遣さんの意見に頼ってどうする！」と切り捨てる。

『障害者の社会参加』

千賀子の息子は目が不自由だった。千賀子がユニバーサルデザインに興味を持ったのは息子のことがあったからだ。

障害者雇用促進法を調べた美鈴は泉田を再訪する。ハート石鹸では、来春には法律の基準となる従業員数を超える見込みで、そうすれば障害者の雇用が義務付けられる。そこで、有能であるが障害がある人を雇用するべきかどうかを泉田に質問する。泉田はバリアフリー化の経費がかかることをあげ、美鈴の質問を封じる。美鈴も激昂してしまう。

『明日をめざして』

胡桃沢から嬉しい連絡が入る。谷を説得してユニバーサルデザインの容器のOKを取りつけたという。また、正社員と派遣社員も意見交換できる環境をつくらうということも話し合われたという。さらに、泉田は美鈴の説得を受け入れ、社内のバリアフリー化を自ら提案していくという。

美鈴の取り組んできた会社案内が完成した。「すべての人が働きやすい会社にするために。もっと愛される会社になるために。そして企業としての社会的責任を果たすために」

あなたの会社はどうですか？

プロデューサー・・・中鉢 裕幸 脚本・・・山上 梨香
町井 新一 監督・・・勝間田 匡

制作協力・・・株式会社 クリックス

企画・制作・・・東映株式会社 教育映像部

2006年作品

S

関東営業推進室 東京都中央区銀座3-2-17 〒104-8108 ☎03-3535-3631
関西営業推進室 大阪市北区梅田1-12-6 〒530-0001 ☎06-6345-9026
広島出張所 広島市中区八丁堀16-10 〒730-0013 ☎082-511-2066
高松出張所 高松市本町11-7 〒760-0032 ☎087-851-3766
福岡出張所 福岡市博多区中洲4-3-18 〒810-0801 ☎092-262-3101

●お買い上げは……